



テゲバジャーロ宮崎

愛あるごはんを届けよう! プロジェクト 1/2

地域の交流の場であり、また子どもの貧困対策という役割がある、子ども食堂に対して公式戦で勝利した場合、協賛企業から集めた食材や備品をお届けする活動です。2021年は、宮崎市26カ所・新富町1カ所の子ども食堂に9回届けることができました。

「クラブは試合に勝利し、届けよう」、「協賛企業の皆様と一緒に届けよう」、「サポーターの皆様を後押しに勝利し、届けよう」という想いを込めて選手、協賛企業、サポーターの皆様と一緒に愛あるごはんを、もっと多くの子ども達に届けられるよう、この活動を大きくして参ります。



活動場所

支え合いの地域づくりネットワーク団体、宮崎市内の子ども食堂、新富町内の子ども食堂



協働者

企業、NPO、行政

協働者名

支え合いの地域づくりネットワーク団体、
 江夏商事ホールディングス株式会社、
 ひいらぎホールディングス株式会社、
 宮崎県農協果汁株式会社、児湯養鶏農業協同組合、
 宮崎市役所 子ども未来部 子育て支援課



協働者の声

支え合いの地域づくりネットワーク/こども食堂コーディネーター 黒木 淳子 氏



「サッカー選手初めて見たよ!!」「何を食べたらそんなに大きくなるの?」初めて会うプロの選手に、子どもたちは興味津々。「先週、テゲバ勝ったね」と嬉しそうに話をする子どももいました。様々なご支援や選手とのふれあいを通じて、地元でサッカーチームがある事を知り、スポーツを身近な物に感じられたと思います。



活動詳細情報

1

[公式サイト①](#)

2

[公式サイト②](#)



カテゴリ(SDGs)/取り組みテーマ

1

貧困をなくそう



3

すべての人に健康と福祉を



10

人や国の不平等をなくそう



11

住み続けられるまちづくりを



17

パートナーシップで目標を達成しよう





テゲバジャーロ宮崎

愛あるごはんを届けよう! プロジェクト 2/2

Story

地域の交流の場であり、さらには子どもの貧困対策という大きな役割ももつ子ども食堂は、全国に増えつつあります。しかし、子ども食堂の運営には人、場所、食材の確保等、課題も多くあります。そのような現状を知ったテゲバジャーロ宮崎は、クラブとして力になれることとして全ての公式戦(ホーム・アウェイ、天皇杯等)で勝利した場合、子ども食堂に食材や備品を寄付させていただき「愛あるごはんを届けよう! プロジェクト」を始めました。



勝利した翌水曜日に、子ども食堂を支援している支え合いの地域づくりネットワーク団体様に協賛企業様よりご提供いただいた食材、備品をお届けします。協賛企業様は、この取り組みについてご相談すると快くこの活動に賛同してくださり、勝利のたびに食材や備品を提供してくださいました。

選手やスタッフが食材や備品を届け、時には子ども食堂へ伺い、お届けした食材を使用したごはんと一緒に食べることもあります。実際に子ども食堂へ訪問することで、子ども達や地域の様子を近くで感じることができ、選手も次の試合に向けてモチベーションを上げることができました。

提供して下さった食材や備品は、2021年は、宮崎市と新富町の子ども食堂にお届けさせていただきました。

プロジェクトが始まってから私たちは、「クラブは試合に勝利し、届けよう」、「協賛企業の皆様と一緒に届けよう」、「サポーターの皆様の応援を後押しに勝利し、届けよう」と、皆様と一緒に愛あるごはんを



届けよう! という想いを込め活動をしてきました。クラブだけで活動をするのではなく、協賛企業、サポーターの皆様と共に思いを1つにして活動をし、食材、備品を提供しています。

今後も、選手、協賛企業、サポーターの皆様と一緒に戦い、この活動を継続的かつ拡大していけるよう励んで参ります。